

平成29年度第1回埼玉県利根地域保健医療・地域医療構想協議会 議事概要

1 日時 平成30年2月23日(水) 19時00分から20時40分

2 場 所 加須保健所 2階大会議室

3 出席者

- ・委員総数 32人(出席 25人 欠席7人)
- ・事務局職員等 16人
- ・一般傍聴人 8人

4. 議事概要

(1) 議事1「埼玉県地域保健医療計画【第7次】(案)について」

資料4により、保健医療政策課が説明。

【主な質疑等】

- ・なし

(2) 議事2「埼玉県地域保健医療計画【第7次】の利根保健医療圏の圏域別取組(案)について」

資料5により事務局(加須保健所)が説明。

【主な質疑等】

- ・なし

(3) 議事3「平成28年度病床機能報告の結果について」

資料6により、保健医療政策課が説明。

- ・病床機能報告について、産科病棟、癌科病棟、小児科病棟は病床の使い道が限られている。限定され、なおかつ回復期や慢性期に移行しようのないベッドが一括で入っているが、こういったものは、逆に別枠にした方がいいのではないか。
→ 病床機能報告は、一つの報告制度を作るため、ある程度簡略化しており、癌の病棟、周産期、小児などに報告を分ける制度にはなっておらず、詳細な部分まで見えないという限界がある。そういうところを医療の現場をおられる皆さんの感覚で、御議論いただきたい。

(4) 議事4「地域医療介護総合確保基金の概要について」

資料7により、医療整備課が説明。

【主な質疑等】

- ・なし

(5) 議事5「公的医療機関等2025プランについて」

資料 8-1 により「公的医療機関等改革プラン（仮称）（案）について」により保健医療政策課が趣旨説明。その後、公的医療機関が順次説明。

ア 国立病院機構東埼玉病院

資料 8-2 「公的医療機関等 2025 プラン」により説明。

イ 済生会栗橋病院

資料 8-3 「公的医療機関等 2025 プラン」により説明。

ウ 行田総合病院

資料 8-4 「公的医療機関等 2025 プラン」により説明。

【主な質疑】

- ・ 利根医療圏で将来的に不足するのは高度急性期があるが、済生会栗橋病院の報告を聞いて、医師の確保の問題はあるが、少し弱気という印象がある。病院規模から行くともう少し強気に出て、高度急性期を増やすように努力していただけたらいいのではないか。
 - 329床という枠の中でやりくり算段を考えているというのが現状である。加須市の施設のあり方検討委員会の中では、200床以上にすることがすでに決まっている。病床を増やすことについて思いはあるものの、医療スタッフなどリソースをいかに確保するかが心配である。

(6) 議事 6 「第 6 次地域保健医療計画における利根保健医療圏の取組について」

資料 9-1、資料 9-2、資料 9-3、資料 9-4 により事務局（幸手保健所）が説明。

【主な質疑】

- ・ なし

(7) 議事 「平成 29 年度新型インフルエンザ等対策の取組状況について」

資料 10 により事務局（幸手保健所）が説明。

【主な質疑】

- ・ なし

5 その他

【主な質疑】

- ・ 公的医療機関等 2025 プランに規定された 3 病院以外の民間病院の取組はどのようにしたらよいか。
 - 公的医療機関については国の指導もあってプランを策定して会議で説明をしていただいた。それ以外の医療機関にもそれに準じたプランを作っただけ、会議で説明していただくことも想定される。
- ・ 病床機能自体を医療資源の投入量で測ることは高額薬剤費等に引っ張られるなど正確な数字は出てこないのではないかと。また、利根医療圏南部では

さいたま市や東京都へ流出する患者が多いが、全体数は出ているが、疾患別の数が示されていない印象がある。県でデータがあれば示していただけませんか。

→ 今年度県では業務委託により圏域の中の病床機能を分析している。病床機能報告のうち、例えば高度急性期の定義が人によってとらえ方が違う部分があるので、客観的な基準をおいて圏域の中の機能状況の分析を行い、併せて機能の過不足感をできるだけ出したい。年度末まではデータを取りまとめ、来年度の会議でデータ提供したい。

以 上